

京都教区時報

Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

P 6 MISAS EN: ENGLISH, PORTUGUES, ESPAÑOL

9~12頁 2001年のスケジュール

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601

はじめに



京都教区は、「共同宣教司牧」という教会共同体作りを手がかりに、それぞれの小教区と教区全体が、これからの時代にふさわしい福音宣教する教会に変革していく努力をしています。

現在、京都教区の全小教区は五十七教会ですが、今年の四月の新年度から、司祭の人事異動に合わせて、教区内のすべての小教区が「共同宣教司牧地区」として宣言されます。つまり、どの小教区も単独ではなく、共同宣教司牧地区の教会になります。

この全共同宣教司牧地区に、計三十七人の共同宣教司牧「担当司祭」と、四人の共同宣教司牧「協力司祭」が任命されます。キリスト降誕二〇〇〇年大聖年を感謝のうちに終えて、新しいミニアムの最初の世紀に踏み出していくにあたりこれから京都教

区の将来を考え、今年の司教年頭書簡で京都教区が取り組んでいる共同宣教司牧のことについて述べ、今一度信徒の皆さんに共同宣教司牧推進のための理解と協力を仰ぎたいと思います。

これまでにも共同宣教司牧については、教区として機会あるたびに信徒の皆さんに説明してきました。京都教区では一九九一年から最初の共同宣教司牧が始まっていますから、もう九年、またはそれ以前の準備も含めると十年近くになります。つまり、どの小教区も単独ではなく、共同宣教司牧地区の教会になります。

この全共同宣教司牧地区に、計三十七人の共同宣教司牧「担当司祭」と、四人の共同宣教司牧「協力司祭」が任命されます。キリスト降誕二〇〇〇年大聖年を感謝のうちに終えて、新しいミニアムの最初の世紀に踏み出していくにあたりこれから京都教

二〇〇一年 大塚司教 年頭書簡 —共同宣教司牧が目指していること—

京都司教 パウロ大塚喜直

たのです。

共同宣教司牧のすべてをこの一回の書簡で説明することはできませんが、私はこの書簡で、特に共同宣教司牧を教区全員で始めていく上で、基本となる大切ないくつかのポイントについてだけ、述べようと思います。

① 共同宣教司牧の目的

共同宣教司牧を行う最大の目的は、日本のカトリック教会を、以前にも増して、いや抜本的に「福音宣教する教会」へと変革していくことです。この大きな目的のために、それぞれの小教区が、教会共同体刷新運動としての共同宣教司牧の実践を通して、同様に「宣教型の教会共同体」に成っていくのです。ですから、単に共同宣教司牧は、司祭の人數が教会の数よりも少なくなってきたので、それを補

1
2001

うため少數の司祭で多くの小教区の司牧の世話を可能にするための「苦肉の策」という類のものではありません。

確かに、共同宣教司牧の導入にいたる当初のきっかけは、司祭の減少という事情もあったことは否めません。しかし、この九年間京都教区で実際に徐々に共同宣教司牧を推進し、いろいろと試行錯誤してきた中で、司祭数の減少以外に、共同宣教司牧にチャレンジする、より積極的な目的やそれに託された課題が見えてきました。

たとえば、共同宣教司牧と従来の「小教区主任司祭制度」とを比較して、その限界を克服していくこと。公会議以降の信徒使徒職の実践と発展を一層根本的に推進すること。信徒の高齢化、青少年の不在、信徒数の減少傾向等、教会自体の元気のなさを何とか活気付けること。

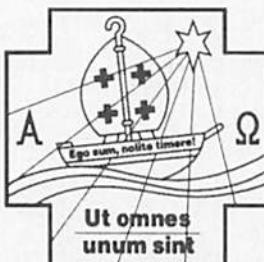
さらに、複雑で多様化した現代日本社会がもつ時代の福音的なニーズ、例えば滞日外国人の人道的援助や信徒の司牧サービスの要求などに応えていくために、単独の教会では対応しきれない挑戦を、カトリック教会が社会から受けているという認識にたった上で、あら

ためて「共同宣教司牧」が、現代日本の教会が抱えている多くの問題、課題に取り組み解決していくために、最も有効な手段であると思えるのです。少なくともそのような識別が、この九年間の共同宣教司牧の試みによつて、司祭信徒のなかに徐々に広がってきているのです。

②【共同宣教司牧と小教区統廃合とは違う】

共同宣教司牧は、小教区の統廃合を準備するため行っているのではありません。もし信徒の間でこの心配が先立つて、共同宣教司牧を正しく理解し受止め、協力しようとする姿勢にならないのであれば、まずその誤解を解いてください。

共同宣教司牧は、第一に「宣教型の教会」になることが目的ですから、共同宣教司牧によつて、いくつかの教会を統合してより大きな小教区を作ることを念頭においているのです。その意



統からくる個性を無くす必要はありません。しかし、教会内の活動（例えば典礼、信仰教育、滞日外国人の司牧やかれらの共同体参加など）や、教會の外への活動、つまり社会に向かっての活動（福祉活動、正義と平和に関する活動、ボランティア活動など）で、もし小教区間の壁が妨げになつて効果的に活動できないのであれば、その壁を無くして小教区固有のやり方を譲り合つて、教會士の共通の組織や合同の活動を作り出していく必要があるでしょう。

ただし、このようない教会は、厳しくいえば信仰の空洞化、形骸化と表裏一体なのです。信仰とは、信徒とはこういうものだというイメージが、深いところでは、教会の停滞を招いているのです。

教会観は信仰観の上に成り立っています。そして現在、京都教区全體が一つになつて歩もうとする正配置のために、その過程で小教区の統廃合もあり得るということを、包み隠さず指摘しておきたいと思います。

③【共同宣教司牧は信仰改革】

さて、宣教型の教会共同体になるために、なぜ従来の「小教区主任司祭制」ではダメなのでしょうか。なぜいま、共同宣教司牧なのでしょ

うか。ここで共同宣教司牧を心から受止めるためには、共同宣教司牧が根本的に「信仰改革」である点に留意しなければなりません。それは、私たち日本の教会の停滞や行き詰まりに関わる、実は今の私たち信徒の「信仰觀」の変革を必要とするからです。

共同宣教司牧の目的は、宣教する教会になるためです。宣教しない教会は、厳しくいえば信仰の空洞化、形骸化と表裏一体なのです。信仰とは、信徒とはこういうものだというイメージが、深いところでは、教会の停滞を招いているのです。

うか。ここで共同宣教司牧を心から受止めるためには、共同宣教司牧が根本的に「信仰改革」である点に留意しなければなりません。それは、私たち日本の教会の停滞や行き詰まりに関わる、実は今の私たち信徒の「信仰觀」の変革を必要とするからです。

うか。ここで共同宣教司牧を心から受止めるためには、共同宣教司牧が根本的に「信仰改革」である点に留意しなければなりません。それは、私たち日本の教会の停滞や行き詰まりに関わる、実は今の私たち信徒の「信仰觀」の変革を必要とするからです。

うか。ここで共同宣教司牧を心から受止めるためには、共同宣教司牧が根本的に「信仰改革」である点に留意しなければなりません。それは、私たち日本の教会の停滞や行き詰まりに関わる、実は今の私たち信徒の「信仰觀」の変革を必要とするからです。

そもそも信仰について「私の信仰を守る」とか、教会について「私の教会」と発想すること自体おかしな話です。信仰は私が生み出したものではなく、伝えられたものなのです。そして、信仰はまずカトリック教会が保持する信仰内容を指し、教会とは、信仰内容を伝えられ、神の無償の恵みを大前提とした上で、各自の自由な選びによって受け入れた人々の集まりであるのです。

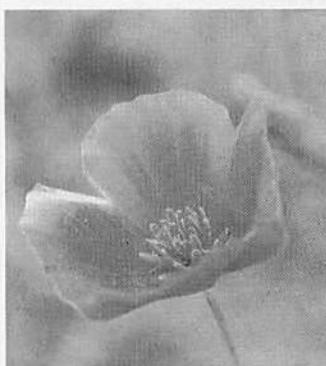
教会の信仰内容は弟子達がイエスに対して持った信仰内容と同質です。神の啓示という神のイニシアティブによる全被造物の救いという遠大なご計画は、イエスの生涯とその死と復活によって実現しました。弟子達はイエスが生涯を賭けて証した「神の国の福音」の中にある父なる神のご計画に気づき、イエスの人生で生起した「死と復活」という出来事を通して、その出来事が自分達の救いにとつて決定的であると悟ったからこそ数々の困難を乗り越えて全世界にイエスを伝えたのです。

従って弟子達が伝えた「イエスの死と復活」、そして父なる神の救いの内容そのものをメッセージとする「イエスによる神の国の福音」

音」を信仰内容としている教会も、弟子達と同様に、その時代の社会や人間に信仰内容がより伝達しやすいように模索することは当然なことです。

そして信仰者の集まりである教会は、信仰を伝達させようという目的を持つている時にこそ、その存在理由を持つのです。つまり、教会は根本的に宣教的目的です。しかも、信仰者も教会も社会的存在です。従って

信仰がひとり一人に伝わり、それを社会に伝えようとする時、私の信仰は「共同体性」を持った「私達の信仰」に変わり、個人



共同宣教司牧では、

複数の司祭がチームを作り、教会の信仰も「社会的な信仰」に変えられるのではないかでしょうか。そして教会は、この社会に存在する「全ての人々のための教会」ではないでしょうか。このことは、信仰と教会の刷新という作業の中でお互いにいつも確認したい内容だと思います。

④ 共同宣教司牧とは何ですか

次に、実際に共同宣教司牧とは

何ですか、という問い合わせてみましょう。名称に「共同」とありますから、ひろく教会の中で異なる構成員同士が共同で教会を運営します。この「共同性」は、教会活動のあらゆるレベルにおいて実践されます。

まず小教区の共同宣教司牧のために、司祭同士がチームワークを組んでやるというのが第一の出発点です。これまで一小教区に一人の主任司祭（時に複数の助任司祭が補助）が任命されていました。そこで一人の司祭が教会活動のほとんどが決定をおこなっていました。

共同宣教司牧では、複数の司祭がチームを作り、教会の活動をチームとして「司祭の立場」から指導するために、まず自分たちの役割と責任を分担します。教会共同体に対する司牧者としての奉仕を果たすため、司祭たちは個人プレーではなく、チームとして共同体に関わります。こうして区の共同体の中で、信徒・修道者と共に、宣教司牧を行います。そこでは、共同体の核になるチーム等の会議で、共同宣教司牧での基本方針や具体的な司牧計画を立て、具体的な事柄についての企画立案をします。さらに、このチームが提案する事柄を小教区の共同体のより多くのメンバーと協議し、その教会共同体全体の決定を生み出します。そして、決めたことを皆で実行し、その活動を共同で評価します。このように、それぞれの小教区の中の活動であろうと、それぞれの小教区同士が互いに交わり、合同での宣教司牧活動であります。このプロセスが、共同宣教司牧に欠かせない要素となります。

⑤ 共同宣教司牧の靈性

したがって、共同宣教司牧の理解のために基本となること、「共同性」の意味です。あらゆるレベルの教会共同体（司祭チーム、小教区のチーム、地区、教区全体）がその固有の使命を果たすために、共同の責任を持って、みずから運営、活動を決定、実行、評価していくときに、常に構成員全体の「識別」をもって行われるという

点です。これは、共同宣教司牧の「共同性」からくる、共同宣教司牧の基本精神、「共同宣教司牧の靈性」とも呼べるものであります。

要するに、共同宣教司牧とは、「合同で何かをする」前に、共同でそのための識別をし、その後、共同でできることがあれば、それを実際に企画し、実行することであって、単に合同で何かをすることが、即、共同宣教司牧ということがではないのです。

確かに、合同で何かをすることの動機と意義があります。例えば、合同で默想会をする、合同で子供のキャンプをする、それは、小さな人数で同じ事をするときのロスを省き、合同でより大きな規模ですれば、無駄がなくなるだけなく、より効果のある有意義な活動ができるということになります。

それは共同宣教司牧だからこそ、容易に実行できるということですが、共同宣教司牧が最終的に目指していることではないのです。

共同宣教司牧を具体的に推進するとき、司祭、信徒・修道者も共に小教区間の交わりを深め、合同の活動を通して司牧宣教を行なっている。司祭は、従来の教会活動全般にみられる「司祭主導・

信徒依存的意識」を変えていくこと、そして、そのような従前の体制での宣教方法の抜本的な見直しをして、本来教会が果たすべき宣教の使命を、現代社会の問題に応え、その地域の福音宣教のニーズに応えるかたちで果たすためです。

⑥[従来の司牧型の教会と主任司祭制度の限界]

この「共同性」を理解するために、ここで少し共同宣教司牧と從来の「主任司祭制度」の違いを考えてみましょう。



これまで、教会（小教区）といえば、「主任司祭」というタイトルで司教からひとつの小教区に任された一人の司祭が、文字通り司教に代わってその教会を直接に監督指導するという風に考えられていました。しかし、司祭個人の決定が圧倒的に信徒はその決定に従つて行動する受身の姿勢でした。

また宣教という観点からは、求道者に洗礼を授けるという布教活動の域を超えて、現在で言うような「社会そのものを福音化する」という視点には、公会議後もしばらく立つていませんでした。

そこでは、困ったことも起こりました。そのひとつは、主任司祭が転任すると、その教会の方針

この場合、教会が一体何をするところかという観点からみると、一般的に「司牧型」と呼ばれる教会のイメージの時代には、この主任司祭制度で充分だったかも知れません。信徒は司祭から靈的な世界を受けるまったくの受身の信仰生活で、逆に司祭は主に秘跡（ミサ）を執行し、求道者の教理、聖書の研究会の指導、個人的に生活の悩みや相談に応じることで司祭の役割を果たし、信徒と司祭の関係は、それによってのみ決まってしまいました。

⑦[第二バチカン公会議以降の教会の歩みから]

第二バチカン公会議以降、従来の小教区制度の下でも確かに、「信徒の自立」と「聖職者（司祭）と信徒との協力」を両立させる共同体への志向が芽生えてきました。

しかし、福音宣教する生き生きとした挑戦的な果敢な教会の姿勢がなかなか見えてきませんでした。「現代世界に開かれた教会への刷新」というたわれた公会議の教えは教会自身に、人間で言えば頭を切り替える道を示してくれました。ところが、その頭で考えることを実際に行動に移していく体の部分がなかなか切り替わっていません。共同宣教司牧は、この旧態依然とした教会の体質を少しずつ変えていく

が（次の司祭のやり方によって）ガラッと変わる、ということが起きたのです。それでは信徒は戸惑うだけで、そこに居づける信徒が主体的に責任をもった教会の継続した運営や宣教方針が持てずは、結局はある司祭の下での単発に、熱心ではあっても教会の活動的な試みにおわって、息の長い一貫した教会の活動ができませんで貫した教会の活動ができませんでいた。

のです。

ここで肝心なのは、時代感覚であります。人類も日本社会も激動の二十世紀を終えた今、政治・社会・文化とあらゆる分野で時代の転換期を迎えてます。世界で、日本で、従来のシステムが破綻している状況が露呈し、先行き不透明な気分で生きている現代、カトリック教会も時代の変わり目であることを痛切に実感するからこそ、ヨハネ・パウロ二世教皇の呼びかけで、過去の誤りと不信仰を反省し、新しい千年期にふさわしい教会に生まれ変わろうとする契機として大聖年を捉え、その準備をして、大聖年を過ごしたのです。

⑧[共同宣教司牧と教会のアイデンティティ]

そしてこの反省は、教会が本来キリストから託された救いの使命の意味付けを、あらためて考えさせてくれました。今という時代の中、教会は自らの存在理由を確認するのです。それが、「選びと派遣の神学」に基づく「救済史的アイデンティティ」の発見なのです。神は人類の救いのわざを全体の中から選び出した代表者としての少数者に奉仕させながら遂

行していくという様式を取られたのです。その根源的代表者はイエスであり、それにイスラエルの民が先行し、新約の教会が継承します。

ですから特に日本の教会は、社会の中で少数派であることを特殊な事情ととらえず、「選ばれた奉仕者」として神の民の本質に基づいた現実として自覺するのです。

これは、宣教環境として日本の教会に与えられた独自の召命と理解できるのです。その上で私たちには、現代世界・日本の非福音的な現実を前に、確信を持つ



いたずらにあせつたり、嘆くことなく、正しい位置から発する知恵と、それに答えようとする勇気を与えてくれるのです。

⑨[日本教会の自立のチャンス]

共同宣教司牧の選択の根底には、日本の教会の「自立すべき時代」の到来という判断があります。現在多くの教会では信徒数の減少や信徒の高齢化によって、教会を維持する体制が揺らいでいます。特に戦後、

外国からの修道会・宣教師の方々によつて経済的にも人材的にも支えられてきた日本教会は、あらゆる意味で自立するように求められています。

⑩[京都教区のビジョンをさらに進めるために教区民としての意識を持つ]

京都教区は福音を生き生きと生き、伝えていくために、宣教型の教会共同体となつて共同宣教司牧を推進するという方法を聖霊の導きによって、選び取って行きます。

それは一九八一年十一月に発布された京都教区ビジョン「社会と共に歩む教会」を見直した上でさらには、「どうしてわたしは（この信徒の少ない日本で）カトリックの信者なんだろう、教会とは一体何なんだろうか、建物があつて信徒が教会に集まること以上に、この日本で小さな共同体は何をすべきか」というシンプルな問いかけを、

これがうまくいくことが目的ではないので、あせりませんが、これだと決め付ける危険にも注意します。

確かに、共同宣教司牧を推進していくために、課題はまだまだたくさんあります。例えば、共同宣教司牧の神学的研究、信徒使徒職の新しい発展、信徒の自立、教会共同体における信徒と司祭の役割の構築、司祭の真のリーダーシップ、奉仕者と共同体の関係、人間集団のより質の高い識別の方法の開発などです。

敗や痛みを新たな気づきの糧とす

ることです。共同宣教司牧は、そ

めに、信徒ひとり一人が教区民としての意識を持つて、共同宣教司牧に取り組んでください。私達は自分の所属する小教区が、何処の団体かをよく認識する必要があります。全ての小教区の地域名の上にカトリックという言葉がついています。それは世界教会であるカトリック教会が保持する信仰内容と職制を地方教会である京都教区共同体も同じものを持ち、それを持つてこの地域に信仰を伝えるためには存在しています、という「意思表示」であると思います。

繰り返し言っているように教会の存在意義は信仰を伝達することにあります。イエスが告知した神の福音が、今の時代に地方教会である京都教区の地域に、よりよく伝わるために、自己の小教区だけにのみ眼を向けるのではなく、従来の組織のあり方を必要に応じて変えていくのは極めて当たり前なことです。大切なことは従来の組織を守ることではなく、見直すべきところは見直すという勇気を信仰者としてもつことです。共同宣教司牧の取り組みは、教区民としての意識を持って将来の京都教区に責任をもって信仰を伝えていく福音宣教を止めない旅です。

二〇〇一年元旦

教会の、次のミレニアムの第一歩にしか過ぎないのです。

私の述べた点は本当に僅かですが、従来の枠組みと変わらないメソタリティーを少しずつ変えていきましょう。将来は待てば来るものではなく、従来からあるものをよく見極めた上で見直し続け、自分自身が一人の信仰者として、そして教区民として、どのようにイエスの福音に生きたらいいのだろうかと、回心による自己刷新を続けて、信仰による応答を続けていくことは、大聖年が終わっても、生涯続いていくキリスト者の生き方です。

京都教区の最優先課題である共同宣教司牧に取り組みながら、第三番目のミレニアムで「みながひとつになるよう」聖母マリアの取次ぎを願い、今年一年私たちの歩みの上に、父である神の豊かな恵みと聖霊の照らしがありますように。キリストの名において、司教の祝福を皆さんにおくります。行きましょう、主の平和のうち。

京都教区・外国語ミサ

英語ミサ (ENGLISH)

• SAIN CHURCH 西院教会	~PAG-ASA COMMUNITY	毎週日曜日、PM 3:00
Every Sun. 3 p.m.	フランシスコの家	毎週水曜日、PM 4:00
• FRANCISCAN HOUSE	西舞鶴教会	第1日曜日、PM 3:00
Every Wed. 4 p.m.	草津教会	第4日曜日、PM 2:00
• NISHI MAIZURU CHURCH	奈良教会	最終日曜日、PM 3:00
Every First Sun. 3 p.m.	大和八木教会	第3日曜日、PM 2:00
• KUSATSU CHURCH	大和郡山教会	第3日曜日、PM 1:00
Every Fourth Sun. 2 p.m.	津教会	第4日曜日、PM 2:00
• NARA CHURCH	四日市教会	第3日曜日、PM 1:00
Every Last Sun. 3 p.m.	鈴鹿教会	第4日曜日、PM 2:00
• YAGI CHURCH	亀山教会	毎週日曜日、AM 9:00
Every Third Sun. 2 p.m.		
• KORIYAMA CHURCH		
Every Wed. 3.30 p.m.		
• TSU CHURCH		
Every Third Sun. 2 p.m.		
• YOKKAICHI CHURCH		
Every Third Sun. 1 p.m.		
• SUZUKA CHURCH		
Every Fourth Sun. 2 p.m.		
• KAMEYAMA CHURCH		
Every Second Sun. 9 a.m.		

韓国語ミサ (한국어 미사)

京都コリアン・カトリックセンター
第1日曜日 午前10時

スペイン語ミサ (ESPAÑOL)

Iglesia de FUSHIMI
伏見教会
Segundo Domingo del mes 2 p.m., 第2日曜日、PM 2:00

• Iglesia de KUSATSU 草津教会	Tercer Domingo del mes 2.30 p.m., 第3日曜日、PM 2:30
• Iglesia de NAGAHAMA 長浜教会	Cuarto Domingo del mes 2 p.m., 第4日曜日、PM 2:00
• Iglesia De SUZUKA 鈴鹿教会	Segundo y Tercer Domingo del mes 2 p.m., 第2・3日曜日、PM 2:00
• Iglesia de KAMEYAMA 亀山教会	Cuarto Domingo del mes 9 a.m., 第4日曜日、AM 9:00
• Iglesia de TSU 津教会	Cuarto Domingo del mes 2 p.m., 第4日曜日、PM 2:00
• Iglesia de YAGI 大和八木教会	Primer Domingo del mes 2 p.m., 第1日曜日、PM 2:00
• Iglesia de NISHI YAMATO 西大和教会	Segundo Domingo del mes 3 p.m., 第2日曜日、PM 3:00
• Iglesia de YOKKAICHI 四日市教会	Cuarto Domingo del mes 12 a.m., 第4日曜日、AM 12:00
• Iglesia de UENO 上野教会	Tercer Sabado del mes 7.30 p.m., 第3土曜日、PM 7:30

ポルトガル語ミサ (PORTUGUES)

• Igreja paróquial do KUSATSU 草津教会	Segundo Domingo do mes 3 p.m., 第2日曜日、PM 3:00
• Igreja paróquial do YOKKAICHI 四日市教会	Primer Segundo Domingo do mes 4 p.m., 第1・2日曜日、PM 4:00
• Igreja paróquial do SUZUKA 鈴鹿教会	Todos los Domingos do mes 6 p.m., 每週日曜日、PM 6:00
• Igreja paróquial do KAMEYAMA 亀山教会	Primer Domingo do mes 9 a.m., 第1日曜日、AM 9:00

十一月二十三日(司教座聖堂記念日)
教区大聖年ミサにおける説教

教会が社会の隣人になるように

京都司教 パウロ大塚喜直

【京都教区の歩みの感謝】

した。教皇は一九七九年の教皇就任の時から、来る第三番目の千年紀を迎えるこの期間を「新しい待降節」と名付けられました。そし

てはつきりと大聖年の準備は、攝

〇年の聖年を、大聖年と定め、千〇年毎に教会の歩みを捉え、その時々の教会の姿勢を振り返り、反省と回心と祈りによって現代教会が、喜びと希望に満ちて新たな千年期を迎える準備をするようになると世界中の信徒に向けて呼びかけられま

【一九八一年の教区ビジョン】

一九八一年十一月二十三日、今

から十九年前の京都教区司教座聖堂記念日に、京都教区のビジョ

ン「社会と共に歩む教会」が発表

されました。これは、京都教区が

その自らの宣教のビジョンとして、

第二バチカン公会議の教えを実践していくために、特に「弱い立場に置かれた人々」への関わりを最優先に行う宣教の基本方針を定めたものでした。そして、まさにこ

のときから大聖年の京都教区の準



備も、攝理的に始まっていたのでした。この京都教区のビジョンは、教区創立五十周年にあたる一九八七年、奇しくも京都で開催された第一回ナイス(全国福音宣教推進会議)において、第二バチカン公会議以後の日本の教会が歩むべき方向として、広く確立されました。

【直前の準備】

大聖年直前の準備として京都教区は、日本の宣教史の原点である日本二十六聖人殉教の四百年祭を盛大に祝い、大聖年の本格的な備えをはじめました。そして、大聖

年に向けて、小教区など多くの教区の各施設・諸活動が、「大聖年準備の五カ年計画」を立て、それぞれの具体的な取り組みを始めました。一九九七年「御子の年」は信仰と洗礼の秘跡の年、一九九八年「聖霊の年」は、希望と堅信の年、一九九九年「御父の年」は、愛とゆるしの秘跡、すなわち回心と和解の年として、個人と共同体の信仰を、三位一体の神秘を黙想しながら反省してきました。一九九九年は、ここカトリックの保護

ザビエル」の渡来四百五十年を迎えた。この京都教区のビジョンは、え、日本での福音宣教の過去を振り返り、現在を見直し、未来を準備するためのよい機会に恵まれました。

みながひとつになるように

一九九七年四月一日に私は、田中健一司教様の後任として、教皇より京都司教の任命を受け同年六月十五日に司教叙階を受けました。「みながひとつになるように」をモットーにして私は、司教の所信表明で、京都教区が推し進めている二〇〇〇年大聖年の準備の活動を、司教として最初の教区の基本方針としました。

よって、私たちは父なる神の呼びかけに従い、いただいた信仰を感謝の念を持って受けとめ、神の子としてふさわしく生きるように回心を重ね、聖霊の照らしに心を開いて、京都教区が次のミレニアム、二十一世紀の福音宣教に向かって乗り出していくように、司教の紋章を、父である神への巡礼の船にしました。

【よきサマリア人のたとえ】ルカ10・25・37

さて、ここで教区ビジョン「社

会と共に歩む教会」を再確認する意味で、今日の福音の「よきサマリア人のたとえ」をもう一度思い起こしましょう。

イエスは、たとえを話し終えて
律法の専門家に「さて、あなたは、
この三人のうち、誰が、強盗に襲
われた人に対して、隣人として振
舞つたか」と尋ねられました。こ
のイエスの質問は、まさに「社会
と共に歩む教会」の精神を生きる
私たちが問われる質問だと言えま
す。

たとえの意味は、イエスの説く隣人愛の大切な視点を教えています。隣人愛とは、「私」の隣人を

探すのではなく、自分の方から「隣人」になることによって実現する人間的なかかわりを指します。自分中心的発想の愛の切り売りではなく、他者、すなわち相手中心のかかわりを生み出す具体的な行動なのです。「私の隣人とはだれたくないのです。

確かに、「私の隣人」とは、私達の生活において出会う人、とくに私の助けを必要としている人のことでしよう。しかし、その人たちが「わたしの隣人」になるので

はなく、私の方が、進んで「その人の隣人になる」のでなければならないのです。

「社会と共に歩む教会」という教区ビジョンは、まさに、「宣教というものを、教会を中心と考えるのではなく、このたとえを借りるならば、「社会」を中心にして「教会が社会の隣人になる」という回心の上に成り立っているのです。カトリック教会が第二バチカン公会議によって「世界に開かれた教会」として、自らを捉え直したこととは、現代の教会がよきサマリア人でのイエスの問いかけに応えた答えなのです。

「社会と共に歩む教会」という教区ビジョンは、まさに、「宣教というものを、教会を中心に考えるのではなく、このたとえを借りるならば、「社会を中心にして「教会が社会の隣人になる」という回心の上に成り立っているのです。カトリック教会が第二バチカン公会議によって「世界に開かれた教会」として、自らを捉え直し

希望を持つて、

イドと自らの生きる目標を持てず
にいらだっています。しかし、社
会のシステムの崩壊と閉塞感の中
にも、身近なところに福音的な小
さな芽生えを見つけることもでき
ます。そんな中で、カトリック教
会は、多くの滞日外国人の隣人と
なり、同じキリスト者として、多
国籍の教会共同体をつくるように、
神から呼びかけられています。

今年の教会の主な祝祭日

灰の水曜日	2月5日	(月)
復活の主日	4月15日	(日)
主の昇天	5月27日	(日)
聖靈降臨の主日	6月3日	(日)
キリストの聖体	6月17日	(日)
聖ペトロ聖パウロ使徒	6月29日	(金)
聖母の被昇天	8月15日	(水)
王であるキリスト	11月25日	(日)
無原罪の聖マリア	12月8日	(土)
主の降誕	12月25日	(火)

しましょう。

最後に、初代教区長バーリック	
バーン司教さまの帰天五十年を追悼します。司教様が教区の基礎を築くという重責を果たし、北朝鮮での殉教にも似た最後の死を遂げられたことを思い起こし、父である神が司教さまの取次ぎによって、	
京都教区に二十一世紀の福音宣教を果たす力を豊かにお与え下さるよう、お祈りしたいと思います。	
今年の教会の主な祝祭日	
日本二十六聖人	
灰の水曜日	2月28日(水)
復活の主日	4月15日(日)
主の昇天	5月27日(日)
聖靈降臨の主日	6月3日(日)
キリストの聖体	6月17日(日)
聖ベトロ聖パウロ使徒	6月29日(金)
聖母の被昇天	8月15日(水)
王であるキリスト	11月25日(日)
無原罪の聖マリア	12月8日(土)
主の降誕	12月25日(火)

大塚司教のスケジュール

1月	1日(月)元旦新年司教ミサ(河原町)10時半	8時半	大阪管区青少年担当者会議18時	8時半	19日(月)~23日(金)司教総会	10時	16日(金)聖母小学校卒業式	式10時
	5日(金)教区大聖年閉幕ミサ(河原町)11時・司祭修道者懇親会(河原町地下)13時	福音センター結婚講座14時	27日(土)洛星高校3年司教講話	25日(日)青少年委員会18時	26日(月)セントヨゼフ祝別式11時	27日(火)書記局会議18時	28日(水)ノートルダム高校卒業式9時	20日(火)鈴鹿教会50周年10時
	12日(金)河原町教会マリア会新年ミサ10時	30日(火)聖家族幼稚園感謝の祈り11時15分	28日(日)京都教区女子奉獻生活者の会年次総会14時	青少年委員会18時	26日(月)セントヨゼフ祝別式11時	25日(日)青少年委員会18時	22日(木)司教顧問会・責任役員会10時	18日(日)奥村助祭叙階式(伏見)15時
2月	14日(日)故斎木神父一年祭ミサ(河原町)10時半	2日(金)故古屋司教衣笠墓参11時	17日(土)教区カトリック協議会14時	1日(木)2月司教顧問会・責任役員会10時	3日(火)長岡幼稚園感謝の祈り10時	23日(金)教区幼稚園保育者研修会ミサ10時	24日(土)園部聖家族女子高卒業式	17日(土)聖体奉仕者勉強会14時
	16日(火)テレジア幼稚園訪問(福知山)15時	故古屋義之司教追悼10年祭ミサ(河原町)16時	4日(日)26聖人顕彰ミサ(フランスの家)14時	4日(日)教区合同洗礼志願式14時	5日(月)長岡幼稚園感謝の祈り10時	25日(日)青少年委員会18時	25日(日)青少年委員会18時	21日(日)カリタス会理事会14時
	18日(木)常任司教委員会10時	6日(火)グーダルペ会総会出席(渋谷)15時	7日(水)K.K.(機構改革)委員会15時	7日(水)K.K.(機構改革)委員会15時	4日(水)K.K.(機構改革)委員会15時	26日(月)~27日(火)侍者合宿	26日(月)~27日(火)侍者合宿	20日(火)鈴鹿教会50周年10時
	正義と平和協議会事務局会議16時	8日(木)常任司教委員会10時	8日(木)常任司教委員会10時	8日(木)常任司教委員会10時	5日(木)常任司教委員会10時	28日(水)聖香油ミサ10時半	27日(水)福音センター訪問14時	18日(日)奥村助祭叙階式(伏見)15時
	日韓歴史勉強会18時	9日(金)正平協運営委員会9時	9日(金)正平協運営委員会9時	9日(金)正平協運営委員会9時	4日(水)K.K.(機構改革)委員会15時	29日(木)福音センター訪問14時	28日(水)聖香油ミサ10時半	17日(土)聖体奉仕者勉強会14時
	21日(日)故阿南慈子50日祭ミサ(河原町)16時	10日(土)青谷幼稚園祝別10時	10日(土)青谷幼稚園祝別10時	10日(土)青谷幼稚園祝別10時	4日(水)K.K.(機構改革)委員会15時	30日(火)聖母短大卒業式10時	29日(木)福音センター訪問14時	21日(日)カリタス会理事会14時
	23日(火)京都教区・京都南学法理事会14時	11日(日)~13日(火)午前中正平協担当者会議10時	11日(日)~13日(火)午前中正平協担当者会議10時	11日(日)~13日(火)午前中正平協担当者会議10時	5日(木)常任司教委員会10時	11日(水)同宗連20年(ホテルグラソヴィア)14時	30日(火)聖母短大卒業式10時	18日(日)奥村助祭叙階式(伏見)15時
	25日(木)司教顧問会・責任役員会10時	14日(水)京都教区・京都南学法理事会14時	14日(水)京都教区・京都南学法理事会14時	14日(水)京都教区・京都南学法理事会14時	5日(木)常任司教委員会10時	12日(木)聖木曜日のミサ・主の晚餐(河原町)19時	16日(金)聖母小学校卒業式10時	17日(土)聖体奉仕者勉強会14時
	26日(金)洛星高校3年司教講話10時	15日(木)ノートルダム小学校卒業式14時	15日(木)ノートルダム小学校卒業式14時	15日(木)ノートルダム小学校卒業式14時	5日(木)常任司教委員会10時	13日(木)聖木曜日のミサ・受難(河原町)19時	20日(火)鈴鹿教会50周年10時	18日(日)奥村助祭叙階式(伏見)15時
	13日(火)午後~15日(木)新潟担当者会議10時	14日(木)聖土曜日復活徹夜ミサ19時	14日(木)聖土曜日復活徹夜ミサ19時	14日(木)聖土曜日復活徹夜ミサ19時	5日(木)常任司教委員会10時	14日(木)聖土曜日復活徹夜ミサ19時	24日(土)園部聖家族女子高卒業式	25日(日)青少年委員会18時

19日(木)主の復活司教ミサ10時半	研修会
16日(月)～18日(水)司教・修道者合同集会	10時
19日(木)司教顧問会・責任役員会	10時
29日(日)青少年委員会18時	31日(木)司祭全体集会10時半
司祭評議会15時	6月
5日(土)右近こども祭10時	3日(日)堅信式(河原町)10時半
7日(月)～7日(月)～10日メリノール総会	11日(月)～16日(土)司教総会
9日(水)K.K.(機構改革)委員会15時	17日(日)伏見創立50年ミサ10時
10日(木)常任司教委員会10時	19日(火)書記局会議18時
正義と平和協議会事務局会16時	20日(水)幼稚園園長会10時
日韓歴史勉強会18時	21日(木)司教顧問会・責任役員会10時
13日(日)細川ガラシヤ顕彰ミサ10時	23日(土)教区カトリック協議会14時
15日(火)カリタス会理事会14時	24日(日)河原町ミサ10時半
16日(水)京都教区・京都南学法理事会14時	26日(火)聖パウロ幼稚園創立30周年10時
17日(木)司教顧問会・責任役員会14時	27日(水)聖母被昇天司教ミサ10時半
10時	28日(木)聖書講座10時
司祭評議会常任委員会14時	9月
19日(土)カロンデレット祝別式時	4日(水)K.K.(機構改革)委員会15時
(津)11時	5日(木)常任司教委員会10時
22日(火)滋賀学法理事会14時	13日(木)常任司教委員会10時
22日(火)奈良ファミリー11時	10日(土)教区カトリック協議会14時
27日(月)～29日(火)青少年委員会14時	11日(日)希望の家バザー9時
14日(土)結婚講座14時	12日(月)カトリック学校校長会14時
10時	13日(火)～15日(木)日韓司教交流会
19日(土)カロンデレット祝別式時	14日(金)正平協運営委員会9時
(津)11時	16日(日)スカウト・サンデー13時半
22日(火)滋賀学法理事会14時	16日(金)司教顧問会・責任役員会10時
22日(火)奈良ファミリー11時	司祭評議会常任委員会14時
27日(月)～29日(火)青少年委員会14時	19日(木)司教顧問会・責任役員会10時
14日(土)結婚講座14時	23日(日)田中司教・司教銀祝・司祭評議会常任委員会14時
10時	26日(木)司祭評議会10時半
19日(木)司教顧問会・責任役員会	27日(木)～10月31日(水)ローマ祭金祝ミサ・祝賀会
29日(日)青少年委員会18時	30日(日)青少年委員会18時
司祭評議会15時	19日(木)司教顧問会・責任役員会10時
5月	8月
17日(日)伏見創立50年ミサ10時	4日(土)比叡山平和の祈り15時
19日(火)書記局会議18時	5日(日)広島平和ミサ
20日(水)幼稚園園長会10時	5日(日)～7日(火)教区中学生広島巡礼
21日(木)司教顧問会・責任役員会10時	12日(日)教区一斉平和祈願ミサ
23日(土)教区カトリック協議会14時	ミサ・平和行進15時
24日(日)河原町ミサ10時半	15日(水)聖母被昇天司教ミサ10時半
26日(火)聖パウロ幼稚園創立30周年10時	27日(月)～29日(水)教区・司祭修道者研修会
27日(水)聖書講座19時半	11月
28日(木)聖書講座10時	6日(火)書記局会議18時
9月	4日(木)常任司教委員会15時
12日(水)K.K.(機構改革)委員会15時	16日(火)～23日(火)教区黙想会
13日(木)常任司教委員会10時	17日(水)K.K.(機構改革)委員会15時
10時	8日(木)常任司教委員会10時
正義と平和協議会事務局会16時	9日(木)正義と平和協議会事務局会15時
日韓歴史勉強会18時	10日(土)教区カトリック協議会14時
14日(金)正平協運営委員会9時	11日(日)希望の家バザー9時
16日(日)スカウト・サンデー13時半	12日(月)カトリック学校校長会14時
16日(日)司教顧問会・責任役員会10時	13日(火)～15日(木)日韓司教交流会
司祭評議会常任委員会14時	16日(金)司教顧問会・責任役員会10時

時 教区司祭追悼ミサ16時半
 18日(日)ブラジル人堅信18時
 20日(火)大阪京都合同顧問会15時
 23日(金)京都教区創立記念日
 23日(金)~25日(日)正義と平和協議会全国集会
 26日(月)~27日(火)青少年委員会研修会
 29日(木)司祭全体集会10時半
 司祭評議会15時
 30日(金)大阪教会管区教区代表者会議(大阪大司教館)11時

12月
 5日(水)~6日(木)司教社会問題研究会
 7日(金)正平協運営委員会10時
 10日(月)~11日(火)大阪教会管区事務局長会議
 13日(木)常任司教委員会10時
 正義と平和協議会事務局会議16時
 曰韓歴史勉強会18時
 20日(木)司教顧問会・責任役員会
 10時半
 25日(火)主の降誕ミサ(河原町)
 深夜ミサ23時
 24日(月)市民クリスマス19時半
 電話075(822)6246

青年センター

11月17日(土)~11月25日(日)
 ◆みことばをかこう書道・絵画展

地区の行事

◆奈良カトリック協議会▼右近どもまつり5月5日(土)▼ファミリーデー・合同堅信式5月27日

◆女子奉獻生活者の会▼年次総会5月(日)▼平和旬間奈良県行事8月5日(日)▼奈良県ウォーカソン

教区委員会の行事

◆福音センターの行事
 ◆信仰教育委員会▼侍者合宿3月26日(月)~28日(水)▼春の祈りの集い6月▼秋の祈りの集い10月▼一日巡礼月未定
 電話075(822)7123
 ◆養成コース▼病人訪問コース5月25日(金)~27日(日)宝塚默想の家▼祈りコース6月22日(金)
 24日(日)、11月2日(金)~4日(日)いずれも唐崎ノートルダム祈りの家▼典礼と生活、社会と福音、聖書に親しむABC、集会祭儀司式者準備コース、出前コース何れも月日場所未定
 ◆聖書深読1月13日、2月3日、3月3日、4月21日何れも土曜日、西院カトリック会館
 ◆自己発見(かかわりの回復の旅)
 研修4月6日、6月1日、7月6日、9月7日、10月5日何れも第一金曜日
 ◆結婚講座1月27日(土)、2月10日(土)、6月~7月
 ◆聖書講座5月9日~10月25日いずれも水曜日夜または木曜日午前中全20回
 ◆みことばをかこう書道・絵画展11月17日(土)~11月25日(日)

都協議会

◆部落問題委員会・正義と平和京都協議会▼学習会1月20日(土)
 「作家中上健次と路地」河原町会館▼部落問題委員会常任・運営委員会2月24日(土)河原町会館▼見区改進地区学習センター

◆登美ヶ丘教会▼信徒総会2月4日(日)▼黙想会4月▼バザール10月▼黙想会11月

修道会の行事

◆奈良カトリック協議会▼右近どもまつり5月5日(土)▼ファミリーデー・合同堅信式5月27日

◆女子奉獻生活者の会▼年次総会5月(日)▼平和旬間奈良県行事8月5日(日)▼奈良県ウォーカソン

小教区の行事

◆河原町教会▼聖親会総会2月25日(火)▼默想会3月3日(土)
 ◆田中司教司教銀祝・司祭金祝9月23日(日)▼聖フランシスコ・ザビエル司祭の記念日12月3日(月)▼クリスマス市民の集い12月24日(月)

◆衣笠教会▼バザール9月15日(土)、10月20日(日)▼街頭募金12月9日(日)、16日(日)

◆西陣教会▼家族の集い5月20日(日)▼クリスマス市民の集い12月24日(月)

◆登美ヶ丘教会▼信徒総会2月4日(日)▼黙想会4月▼バザール10月▼黙想会11月

◆滋賀カトリック協議会▼安土セミナリヨ記念ミサ・合同堅信式5月27日(日)▼びわこウォーカソン11月23日(金)

◆京都南部カトリック協議会▼ウオーカソン11月3日(土)▼平和行進8月12日(日)

◆ク大会11月23日(金)、9月23日(日)▼奈良県カトリック

ミナリヨ記念ミサ・合同堅信式5月27日(日)▼びわこウォーカソン11月23日(金)

教育関係施設の行事

- ◆京都ノートルダム女子大学▼卒業式3月8日(木)▼入学式4月2日(月)
- ◆聖母女学院短期大学▼卒業式3月13日(火)▼入学式4月3日(火)
- ◆暁星女子高等学校▼入学式4月7日(土)▼創立記念日5月1日(火)
- ◆聖家族女子高等学校▼卒業式2月24日(土)
- ◆聖母学院中学校・高等学校▼ペルナデッタのミサ2月14日(水)
- ▼高校卒業式2月15日(木)▼中学校卒業式3月19日(月)▼中高入學式4月9日(月)▼創立記念日5月2日(土)
- ◆日星高等学校▼卒業式2月27日(火)▼入学式4月10日(火)▼創立記念日5月1日(火)
- ◆ノートルダム女学院中学高等学校▼高校卒業式2月28日(水)▼創立記念日3月21日(水)▼創立記念日・音楽鑑賞会10月12日(金)
- ◆洛星中学・高等学校▼高校卒業式2月7日(水)▼中学卒業式3月23日(金)▼中学高校入学式4月9日(月)▼創立記念日10月22日(月)
- ◆ノートルダム学院小学校▼卒業式

諸施設・諸活動の行事

- ◆レジオ・マリエコミチウム1月~9月、第3日曜日13時半。河原町会館
- ◆信睦二金会 毎月第二金曜日10時15分から(7月8月は休会)
- ◆衣笠墓苑管理委員会▼合同清掃日10月21日(日)▼合同墓参11月4日(日)
- ◆カナの会▼例会1月28日(日)▼結婚相談室開設・例会3月4日(日)、6月3日(日)、7月1日(日)、9月2日(日)、12月2日(日)▼カナの会集い・例会10月7日(日)。カトリック会館6階ホール
- ◆京都キリストン研究会▼総会1月28日(日)▼都の聖母奉賛ミサニコ会)2月18日(日)聖ドミニコ女子修道院申込み電話、FAX、葉書で安達まで電話0754月22日(日)、6月24日(日)、7月22日(日)、9月23日(日)、

お知らせ

- ◆帰天▼ヘンリー・J・フェルセツカ師(メリノール宣教会)が、昨年11月18日(土)ニューヨークで帰天されました。95歳でした。河原町教会の主任司祭ほか、京都ノートルダム女子大学のチャップレンとして、また、特に戦後の混乱期「ラ物資」の代表を務め、精神・物質両面で京都教区のためにご尽力下さいました。フェルセツカ師のご奉仕に感謝し、永遠の安息のためにお祈りください。

- ◆聖ドミニコ女子修道院▼みことばを聴こう 米田彰男神父(ドミニコ会)2月18日(日)聖ドミニコ女子修道院申込み電話、FAX、葉書で安達まで電話0754月号でしたら1月15日までに、4月号でしたら2月19日までに、京都教区事務局内「京都教区時報編集部宛」にお願いします。

式3月15日(木)▼入学式4月9日(月)▼創立記念日12月8日(土)

◆聖母学院小学校▼卒業式3月16日(金)▼入学式4月10日(火)▼創立記念祈りの集い6月4日(月)

◆京都カトリック混声合唱団▼練習日1月14日(日)14時練習後新年総会、1月27日(土)19時河原町会館六階

◆隣保聖体修道会京都修道院ホーリール

◆ヌヴェール愛徳修道会 共同体電話FAXの変更(12月1日付)本部修道院第一共同体電話075(644)1380

◆丹波教会FAX番号の変更FAX075(644)0621

◆隣保聖体修道会京都修道院電話番号の変更電話075(841)5964

FAX075(822)2631

(これまで電話・FAX共用であったものをFAX専用にして、電話をあたらしく付けました)

◆丹波教会FAX番号の変更FAX0771(22)3473

加入者860名(11月14日現在)累計27,080,162円

◆「一万匹の蠍運動」基金報告FAX0771(22)3473

◆電話番号情報コーナーいのちの電話(相談窓口)

075(864)4343

0742(35)1000

052(971)4343

◆編集部からのお知らせ お知らせに載せたい情報は、3月号でしたら1月15日までに、4月号でしたら2月19日までに、京都教区事務局内「京都教区時報編集部宛」にお願いします。